

2022年度 指導者の心得について

『クリーン・ザ・ゲーム』 『リスペクト・フォー・ザ・ゲーム』

1. 指導者も「友情・ほほえみ・フェアプレイ」

- ① 試合開始前には、相手コーチや審判員、テーブルオフィシャルと握手等で交流を図る
- ② 選手への挨拶指導の徹底
 - (1) 登録時のテーブルオフィシャルへの挨拶
 - (2) 試合開始前の審判員への挨拶（ゲームキャプテン）
 - (3) 試合開始、終了時の相手チームへの挨拶（コート上の選手、ベンチの選手）
 - (4) 試合終了後の相手チーム指導者への挨拶（チーム代表選手）
- ③ 時間を守る
 - (1) 選手登録は速やかに行う
 - (2) タイムアウトの指示は時間内に済ませる（45秒後に再開できるように）
 - (3) 試合後のベンチの片付け
- ④ 試合中の所作
 - (1) コーチ証を発行されたスタンディングコーチのみ、立って指導ができる
 - (2) タイムアウトは、ルールに則って余裕をもって請求する
 - (3) 選手や審判員に対する言葉かけに十分気をつける

2. ハラスメント行為の撲滅（練習中から徹底すること） ※別紙⑤参照

- ① 選手や審判員、TOやマンツーマンコミッショナーに対する暴力、暴言
- ② ベンチを蹴る、物を投げつける等の暴力行為
- ③ 判定や処置に対する質問は、コーチのみが穏やかな態度で行うことができる
- ④ 選手との身体接触（特に男性指導者と女子選手、女性指導者と男子選手）は避ける

【ガイドライン参考資料4】

ゲーム中のコーチによるプレーヤーへの 暴言、暴力的行為に対する対応方針（ガイドライン）

JBA では、**インテグリティの精神（誠実さ、真摯さ、高潔さ）**に則り、「**クリーンバスケット、クリーン・ザ・ゲーム**」を推進していきたいと考えています。これは、ゲームに関わる**プレーヤー、コーチ、レフェリー**全ての協力で**ゲームの価値を高めようとする**取り組みであり、**ゲームを尊重する精神「リスペクト・フォー・ザ・ゲーム」**にそったものでもあります。

バスケットボールのゲームは、ゲームに関わる関係者のみならず、観客の存在も欠かすことができません。プレーヤー、コーチ、レフェリー、観客も含めてゲームの価値を高める努力をすることが必要です。そして、そのためには**コーチの振る舞い（行動や行為）**も非常に重要になってきます。コーチの振る舞いは、ゲームに関わる関係者（プレーヤー、レフェリー）に直接影響があるだけでなく、**ゲームを観ている観客の方々**にとっても大きな影響を与えます。

そこで、コーチの振る舞いについてある一定の基準を設けてテクニカルファウルの対象とし、**ゲームの価値を下げない取り組み**を推進することとしました。

【テクニカルファウルの対象となる振る舞い（行動・行為）】

1. コーチのプレーヤーに対する暴言

（1）人格、人権、存在を否定する言葉

〈具体例〉最低、クズ、きもい、邪魔、出ていけ、帰れ、死ぬ、てめえ、この野郎、貴様

（2）自尊心を傷つける、能力を否定する言葉

〈具体例〉役立たず、下手くそ、アホ、バカ

（3）身体的特徴をけなす言葉

〈具体例〉チビ、デブ

（4）恐怖感を与える言葉

〈具体例〉殴るぞ、しばくぞ、ぶっとばすぞ、帰りたいの？、試合出たくないの？

2. コーチの暴力的（攻撃的・虐待的含む）振る舞い（行動・行為）

（1）殴る・蹴るなどを連想させる行為

（2）プレーヤーと近接（顔の目の前、腕一本分より近い距離）して高圧的威圧的に指導する行為

（3）「おい！」「こら！」と大声でプレーヤーを高圧的威嚇的に指導する行為

（4）継続的、かつ、度を越えた大声でプレーヤーを指導する行為、いわゆる怒鳴りつける行為

（5）物に当たる、投げる、床を蹴るなどの行為

3. 第三者が不快と感じる振る舞い（行動・行為）

（1）不潔な服装、裸足やスリッパでの指導

（参考資料）

ENGLAND BASKETBALL CODE OF ETHICS & CONDUCT

CANADA BASKETBALL CODE OF CONDUCT AND ETHICS

Basketball Australia Code of Conduct and Ethics For Team Coaches Officials and Support Staff